

平成 15 年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」班 班員名簿

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
主任研究者	石橋 大海	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	臨床研究センター長
分担研究者	中村 稔	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	先端技術研究部長
	右田 清志	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	免疫研究部長
	伊東 正博	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	研究検査科長
	兼松 隆之	長崎大学大学院・移植・消化器外科	教授
	坪内 博仁	宮崎大学医学部・第二内科	教授
	中沼 安二	金沢大学大学院・医学系研究科	教授
	松下 祥	埼玉医科大学医学部・免疫学	教授
	松口 徹也	鹿児島大学大学院・医歯学総合研究科	教授
	市田 隆文	新潟大学医学部附属病院・生命科学医療センター	副部長（助教授）
	西原 利治	高知大学医学部・消化器病態学	助教授
	金子 周一	金沢大学大学院・がん遺伝子治療学	助教授
	若月 芳雄	京都大学大学院・医学研究科内科学講座	講師
	田中 篤	帝京大学医学部・内科学講座	講師
	喜多 宏人	自治医科大学・消化器内科	助手
	下田 慎治	九州大学大学院・病態修復内科学	助手
研究協力者	八橋 弘	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	治療研究部長
	藤岡ひかる	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	形態研究部長
	道免 和文	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	肝癌治療研究室長
	大黒 学	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	肝炎治療研究室長
	小森 敦正	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	ウイルス研究室長
	松本 武浩	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	情報推進室長
	谷口 堅	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	肝移植研究室長
	鶴殿 雅子	国立病院長崎医療センター・臨床研究センター	皮膚科医長
	酒井 浩徳	国立病院九州医療センター・消化器科	医長
	渡部 幸夫	国立相模原病院・消化器科	医長
	中村 陽子	国立相模原病院・消化器科	内科医師
	山本 匡介	佐賀医科大学・内科	教授
	大曲 勝久	長崎大学大学院・消化器病態制御学	講師
	石川 文彦	九州大学大学院・病態修復内科学	学術振興会特別研究員
	事務局	金子 龍也	国立病院長崎医療センター 会計課 〒856-8562 長崎県大村市久原 2 丁目1001-1 TEL:0957-52-3121、FAX:0957-53-6675 e-mail :tkaneko@nmc.hosp.go.jp
経理事務担当者	竹森 史	国立病院長崎医療センター（臨床研究センター） e-mail : takemori@nmc.hosp.go.jp	事務員

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業

「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」班

主任研究者：石橋 大海

平成 15 年度 第 1 回総会

日時：平成 15 年 9 月 26 日（金） 13:00 ～ 18:00

場所：国立病院長崎医療センター 臨床研究センター 会議室

1. 開会の挨拶 国立病院長崎医療センター院長 米倉 正大
2. 本年度の研究計画の概要説明 主任研究者 石橋 大海
3. 事務処理について 会計班長 金子 龍也
4. 研究分担者・研究協力者の本年度研究計画発表 研究分担者・研究協力者

各 10 分以内で概要を説明

5. 全体討議
6. 質疑応答
7. 閉会
8. 長崎医療センター・臨床研究センター御案内

研究分担者・研究協力者の本年度研究計画発表

1. 総括 (13:10 - 13:20)

石橋大海：本研究の概要と目的について

2. 事務連絡 (13:20 - 13:30) 会計班長 金子龍也

3. PBC の経過および現行治療法の解析に基づく治療法の開発 (13:30 - 14:00)

酒井浩徳：国立病院・療養所における原発性胆汁性肝硬変データベースを用いた検討。

1. 重症例・進行例検討、
2. 治療法の検討：UDCA 投与例と非投与例の検討、ベザフィブラート投与例の検討、
3. 当院における経過観察症例の臨床経過と治療法の検討

渡部幸夫：自己免疫性肝炎の肝組織や CD25、CD69 からみた治療と予後の解析

- 市田隆文： 1. 肝移植を施行した邦人原発性胆汁性肝硬変患者の retrospective study 計画
2. 原発性胆汁性肝硬変患者の肝移植後の長期予後
3. 無症候性と肝移植時の原発性胆汁性肝硬変症例の肝内リンパ球動態

4. 予後予測因子の解析 (14:00 - 14:20)

大曲勝久：PBC の進展と治療反応性の予測における IgA クラス抗 M2 抗体の役割

中村 稔：1. 国立病院長崎医療センター症例の解析 2. 予後予測分子マーカーの同定

5. 治療ターゲットの解析に基づく治療法の開発 前半 (14:20 - 15:10)

中村 稔：ミトコンドリア抗原と新たな分子標的-核膜抗原 gp210

中沼安二：胆管上皮の特性からみた PBC の治療法の開発

金子周一：ゲノミクスに基づく難治性自己免疫性肝疾患の病態解析と診断・治療への応用

田中 篤：原発性胆汁性肝硬変の病態形成における Wnt シグナル伝達

松口徹也：肝臓における Toll-like receptor の発現と PBC 病態への関与の可能性

休憩 (15:10 - 15:30)

集合写真撮影 (15:30 - 15:40)

5. 治療ターゲットの解析に基づく治療法の開発 後半 (15:40 - 16:40)

右田清志：胆管細胞障害に対する新しい治療法の開発

下田慎治：置換ペプチドのミトコンドリア抗原反応性 T 細胞増殖に与える影響

若月芳雄：抗原の経口投与により肝臓で誘導される新規免疫調節性 T 細胞の同定とその誘導機序、臨床応用について

松下 祥：Th1/Th2 バランス制御法の開発

喜多宏人：自己免疫性肝疾患における細胞性免疫応答の解析

伊東正博：PBC の進展における遺伝子・蛋白発現に関する病理学的解析

6. 既存の治療法の導入と新治療法の開発 (16:40 - 17:10)

西原利治：原発性胆汁性肝硬変へのEBMの導入

道免和文・山本匡介：フェノフィブラートの臨床試験、他の臨床試験の実施

鵜殿雅子：慢性肝疾患における皮膚そう痒症の治療の試み

6. 肝不全の治療法開発 (17:10 - 17:40)

兼松隆之（蒲原行雄）：自己免疫性肝疾患（原発性胆汁性肝硬変）に対する肝移植における至適免疫療法的确立

坪内博仁（井戸章雄）：末期肝硬変に対するHGF肝再生療法

石川文彦：造血組織由来細胞を用いた障害肝組織の再生

7. 全体討論、質疑応答 (17:40 - 18:00)

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患克服研究事業

「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」班

主任研究者 : 石橋 大海

平成 15 年度 第 2 回総会

プログラム

日時 : 平成 16 年 2 月 6 日 (金) 13 : 30 ~ 18 : 00
2 月 7 日 (土) 9 : 00 ~ 11 : 30

場所 : 国立病院長崎医療センター 臨床研究センター 会議室
〒856-8562 長崎県大村市久原 2-1001-1
TEL : 0957-52-3121、FAX : 0957-53-6675

発表形式・その他の手続き

I. 発表形式 : 発表時間はいずれも 10 分程度 15 分以内でお願いします。ご自分のパソコンでも構いませんが、できましたらメディア（フラッシュメモリー、MO、CD）でお願いします。

II. 総括スライドのご送付のお願い：会議での統括、全国での報告会および報告書作成に利用させていただきたいと存じますので、数枚の総括スライドを、当日でも構いませんが事前にメールでお送りいただけますと幸甚です。

III. 平成 15 年度研究成果報告書の作成

3 月末に班として報告書を製本化して厚生労働省に提出しなければなりません。その際、各班員の方からも報告書を提出していただくことになります。2 月末までに定められた書式にてメールでご提出下さい。また、その際、平成 15 年度の業績一覧とともに、業績のコピーを 2 部提出ください。

IV. 平成 15 年度研究費

既に開設をお願いした現在、受け入れ口座に振込みをしています。2 月末日までに会計処理をしていただき、当方にお知らせ下さいますようにご了承ください。

書式は、メールにて添付させていただきます。

V. 研究費の適正使用に対する通達

研究目的外使用などないように、くれぐれもご注意ください。

2月6日(金) 13:30 ~ 18:00

13:30 - 13:40 開会の辞 主任研究者 石橋 大海

13:40 - 14:40

1. AIH, PBCの長期経過と治療介入による影響 座長 西原 利治

1) 国立病院における自己免疫性肝炎の治療と肝組織像の推移について

国立相模原病院・内科 渡部 幸夫

2) 国立病院・療養所における原発性胆汁性肝硬変(PBC)データベースを用いたPBCの長期経過の検討
国立病院九州医療センター・診療部 消化器科 酒井 浩徳

3) 原発性胆汁性肝硬変の長期経過—複数回検討例による検討

国立病院長崎医療センター・臨床研究センター 中村 稔

4) 生体肝移植を施行した原発性胆汁性肝硬変のprofile

新潟大学医学部附属病院・生命科学医療センター 市田 隆文

14:40 - 15:10

2. 予後予測因子の解析 座長 市田 隆文

5) PBCの進展と治療反応性の予測におけるIgAクラス抗M2抗体の役割

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・消化器病態制御学 大曲 勝久

6) 原発性胆汁性肝硬変における抗gp210抗体の産生機序と予後予測因子としての意義

国立病院長崎医療センター・臨床研究センター 中村 稔

15:10 - 15:20 ご挨拶 国立病院長崎医療センター院長 米倉 正大

15:20 - 15:30 集合写真撮影

15:30 - 15:50 休憩

15:50 - 16:00 事務処理について 会計班長 金子 龍也

16:00 - 17:30

3. 分子標的の探索 座長 松下 祥

7) PBCの進展に関する遺伝子・蛋白発現の病理学的—PPAR α の発現と局在—

国立病院長崎医療センター・臨床研究センター 伊東 正博

8) 包括的発現遺伝子解析に基づく難治性自己免疫性肝疾患の病態解析

金沢大学大学院・がん遺伝子治療学 金子 周一

9) ヒト肝細胞におけるToll-like receptor 4 (TLR4)の発現

国立病院長崎医療センター・臨床研究センター 右田 清志

10) 肝臓におけるToll-like receptorの発現とPBC病態への関与の可能性

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・発生発達成育学 松口 徹也

11) 原発性胆汁性肝硬変の病態に関与するT細胞の機能解析

九州大学大学院・病態修復内科学 下田 慎治

12) 抗原の経口投与により肝臓で誘導される新規免疫調節性T細胞の同定とその誘導機序、臨床応用

京都大学大学院・内科学 若月 芳雄

17:30 - 18:00

4. 再生治療・HGF

座長 坪内 博仁

13) ヒト造血組織由来幹細胞の多能性、可塑性解析と肝再生の応用に関する研究

九州大学大学院・病態修復内科学 石川 文彦

14) 末期肝硬変に対する遺伝子組み換え型ヒト HGF の臨床応用

宮崎大学・第二内科/京都大学・探索医療センター 坪内 博仁 (井戸 章雄)

19:00~21:00

意見交換会：てん新「奥座敷」(TEL: 0957-52-6188)

2月7日(土) 9:00 ~ 11:30

9:00 - 9:45

5. 胆管細胞障害からのアプローチ

座長 中沼 安二

15) 胆汁酸・胆汁うっ滞の視点からの研究・治療法の開発

帝京大学・内科学 田中 篤

16) 肝内胆管細胞の heterogeneity について (胆管炎との関連で)

東北大学・消化器内科 上野 義之

17) 肝移植における摘出 PBC 肝の検討- progenitor cell の観点から

長崎大学大学院・移植・消化器外科 兼松 隆之 (蒲原 行雄)

18) PBC の胆管病発生における菌体成分の関与

金沢大学大学院・形態機能病理学 中沼 安二

9:45 - 10:45

6. 免疫制御による治療

座長 中村 稔

19) 原発性胆汁性肝硬変の肝内リンパ球解析

新潟大学医学部附属病院・生命科学医療センター 市田 隆文

20) PBC における自己反応性 T 細胞応答とその制御

自治医科大学・消化器内科 喜多 宏人

21) Th1/Th2 バランス制御法の開発

埼玉医科大学・免疫学 松下 祥

10:45 - 11:00

7. 治療法開発への EBM の導入

座長 渡部 幸夫

22) 原発性胆汁性肝硬変への EBM の導入

高知大学第三内科 西原 利治

11:00 - 11:30 全体討論

11:30 閉会